

小田原囃子多古保存会

代表者	下田 誠一
所在地	〒250-0054 小田原市多古 311
設立年月日	1960年8月15日

【設立趣旨】

多古の地に昔から道祖神や白山神社の祭礼で奉納され、先人たちによって伝承されてきた小田原囃子を永く後世に伝え残すため、昭和35年に多古公民館が建設され、地域活動の一環として同年8月に小田原囃子多古保存会が設立された。

【沿革】

多古の小田原囃子は江戸中期頃、当時寺町にあった歌舞伎小屋「桐座」で芸人が前座で聞かせた葛西囃子を地元の青年衆が習い伝えた、といわれている。その葛西囃子が時代を経



仕丁目踊りを披露する子供会メンバー

て現在の小田原囃子が創作されました。

この小田原囃子は小田原を中心として神奈川県西部一帯に広められ、各地域で独特の祭囃子となって、今も盛んに神社の祭礼等で奉納されております。

小田原市内では、平成18年に小田原祭囃子連絡協議会が発足され、22団体が祭り囃子団体間の緊密な連絡協調の下に、楽器の貸し借り、指導者の派遣など、協力体制を築き活



夏祭りあかりの祭典小田原囃子競演会出演

発に保存活動が行われ、加盟団体による小田原祭囃子競演会も開催され技術向上に努めています。

とりわけ多古保存会は保存会設立も一番早く、昭和44年神奈川県より文化財指定を受けており、他のリーダー的立場にあり発足当時より青少年における後継者育成活動に力を注いでおり、特に後世に



小田原民俗芸能後継者育成発表会

正しく伝え残すには笛の奏者を育成することが大事、をモットーに30年以上前から譜面を使った練習方法を採用している。



全国こども民族芸能大会 平成20年8月23日

近年では、平成15年から5年間続いた「伝統文化こども教室」の開催でさらにこどもたちの技術が向上し、平成20年8月には「第10回全国こども民俗芸能大会」に出場してその成果を発表することが出来ました。

【活動目的】

江戸時代から受け継がれてきた多古の小田原囃子を後世につたえ、神奈川県無形民俗文化財にふさわしい活動を続けて行き、地域の青少年育成活動やコミュニケーションの場作りに役立たせる。



白山神社祭礼宮入りする山車・神輿

【活動内容】

継承活動（少年部練習）

太鼓練習と笛練習とともに月3回開催、太鼓・笛も初心者は譜面をつかった練習方法を採用、練習会場は多古公民館を利用している。

啓蒙活動（出演演奏）

練習成果は地元地域のお祭りのみならず、昨年の全国こども民俗芸能大会出場、恒例の北条五代まつり・夏祭り小田原囃子競演会・小田原城花菖蒲まつり等、小田原の観光事業にも寄与している。



少年部 笛練習

【活動上の課題と今後の展望】

近年、私たちの地域も少子化により入会する子供が年々少なくなってきました。それと社会・家庭など生活環境の変化のなかで、民俗芸能は異文化のように見えるようで、興味のない存在になってきているように感じられます。

この問題を解決する一つの手段として今回の文化財サポーターフォーラムに参加して、問題解決の糸口を探してみたいと思います。